

学位論文審査の結果の要旨

藤田智郁

本研究は、土木分野への木材利用による地域経済波及効果を検討したものである。木製構造物の実態を反映した分析を行うために、建設事業者の実際の収支データを用いて拡張産業連関表を開発し、非木製構造物との比較において機能と費用を統一する手法および建設・維持管理・廃棄を考慮したライフサイクル全体における経済波及効果を推計する手法を提案した。これにより、土木分野への木材利用は他材料と比べて木材産業・林業を含めた地域経済への波及効果が大きいことを定量的に明らかにした。これらの知見は今後の木材利用政策の立案に大きく寄与するものである。さらに本研究で提案した手法は他分野・他材料へも適用可能な汎用性の高いものである。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。